INAX

トイレ手洗いカウンター〈SUL〉08タイプ

安全上のご注意〈必ずお読みください〉

このたびは、当社商品を採用いただき、誠にありがとうございました。

- ●施工説明書をよく読み正しく本商品を施工してください。
- ●施工後は必ず試運転を行ってください。
- ●お客様に必ず施工説明書、取扱説明書、保証書を渡してください。
- ●お客さまに、お渡しするときは、使用方法をご説明ください。
- ●ご不明な点は、施工説明書に記載の当社支社にお問い合わせください。

■安全のために守ってください

●商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき事故のないように正しく取り付けてください。

■用語の説明

●表示内容を無視して誤った施工をした時生じる危害や損害の程度を、説明しています。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

電源プラグやヒーターコントローラーを水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してけがをする事があります。

アースを確実に取り付けてください。(シャワートイレ付の場合)
※故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
※アースの取付けは、電気工事店にご相談ください。

⚠注意

便器の排水管勾配は1/50以上としてください。
※洗浄不良・詰まり等で家財等を濡らす恐れがあります。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。水抜方法は取扱説明書を参照してください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電、腐食・カビ発生の原因となります。

電源は必ず交流100Vコンセントからお取りください。
※火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。

■施工手順

1 施工前の確認 ▶ 2 手洗いキャビネットの取付け ▶ 3 バックガードの取付け ▶ 4 給・排水管の取付け ▶ 5 コーキング ▶ 6 扉(スライド蝶番)の調節 ▶ 7 各ジョイント部の増締め ▶ 8 水漏れ点検

■施工上のご注意

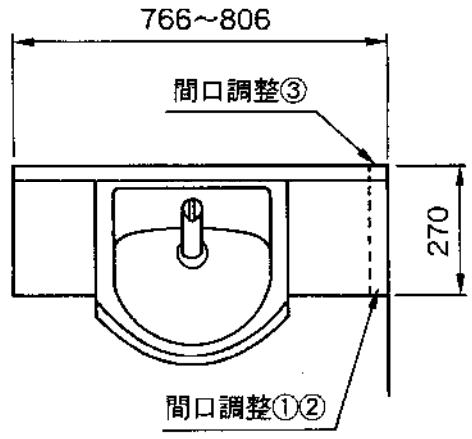
- ●取り付けの際に仕上床をキズ付けないよう養生を行ってください。
- ●給水器具の接続と通水検査は指定水道工事店で実施してください。

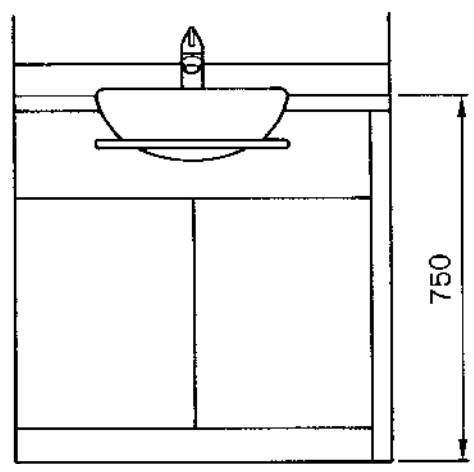
1、施工前の確認

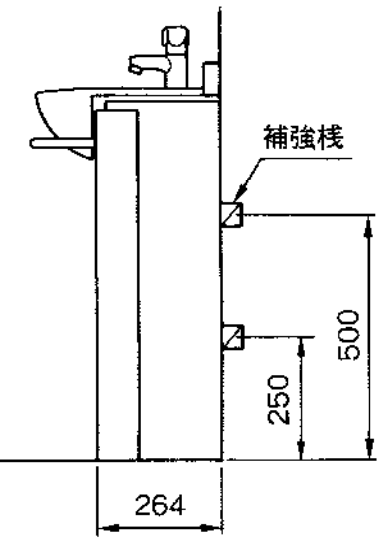
受取った商品について梱包明細にもとづき、品番・数量を確認してください。
施工図どおりできるか、以下の項目について確認してください。
(くるいが多い場合は修正を依頼してください。)

1、壁間寸法、壁の直角度(かね)、壁の垂直(天井から床までで5mm以内)
2、建築巾木の有無(キャビネットの取付位置に建築巾木が付いてないこと)
3、基準壁面からの給排水管の取出し位置
4、補強桟の位置

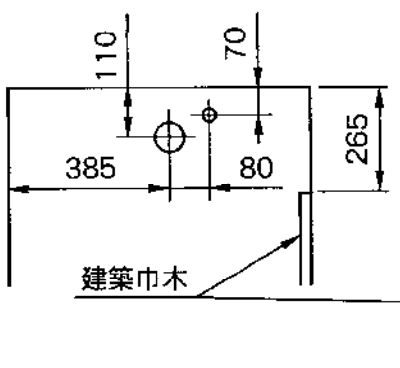
■仕様図

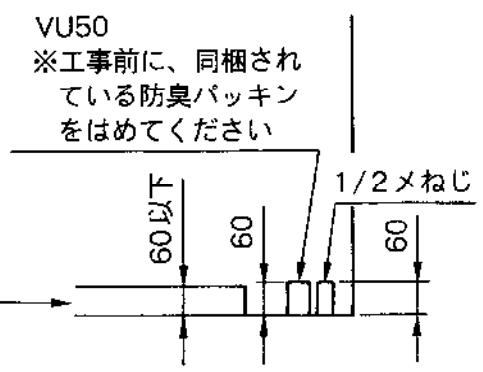






■給・排水管、建築巾木の位置





※図面の寸法と異なっている場合は、修正を依頼してください。

■梱包明細

品　名	入数	梱包	品　名	入数	梱包
手洗いカウンターセット	1	Ⓐ	バックガード	1	Ⓐ
排水金具LF-30SA（35）	1	Ⓐ	間口調整フィラー	1	Ⓐ
止水栓セット	1	Ⓐ	シリコンコーキング	1	Ⓐ
防臭パッキン50×25	1	Ⓐ	説明書	1	Ⓐ
給・排水プレート	1				

■使用する工具

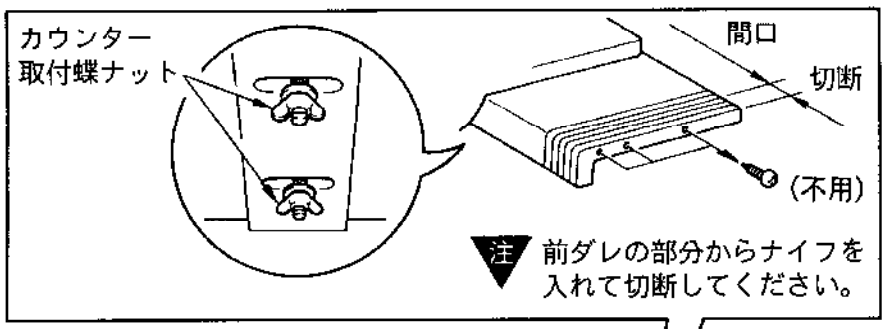
・電動ドライバー ⊕ ⊖ ・短いドライバー ⊕ ・カッターナイフ ・ホルソー
・モーターレンチ ・ウォーターポンププライヤー ・モンキーレンチ（小）
・スケール ・下げ振り ・（シールテープ）

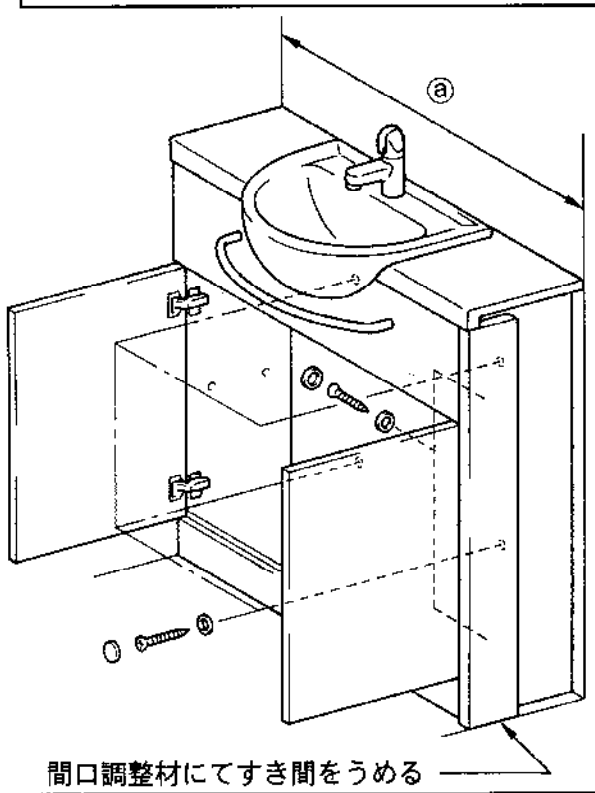
2、手洗いキャビネットの取付け

①部屋の寸法ⓐを計り、カウンター調整部の切断枚数を決めます。一旦カウンターを取り外し、ナイフ等で切断してから、元にもどします。この時、カウンターは仮付けにして、部屋内へのセット時、壁をキズつけないようにするため、手洗器にいっぱいに寄せて寸法ⓐより、短くなるようにしておきます。
②手洗いキャビネットを部屋に入れ、壁の隅に寄せた状態で仮置きし、①で仮付けしたカウンターを壁に寄せて本締めします。
③間口調整材の切断枚数を決め、ナイフ等で切断して、キャビネット内部より化粧キャップ付木ねじで取り付けます。

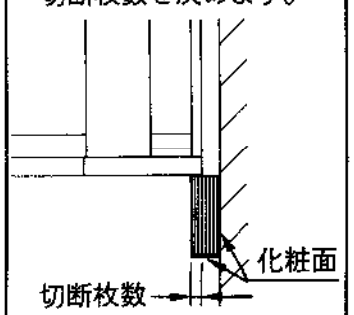
注 壁をキズつけないように十分注意してください。

④手洗いキャビネットを化粧キャップ付木ねじで壁に取り付けます。

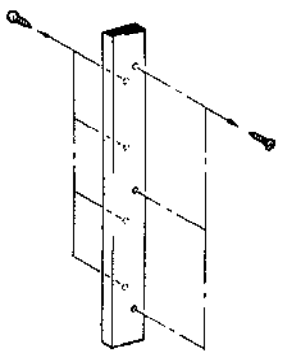




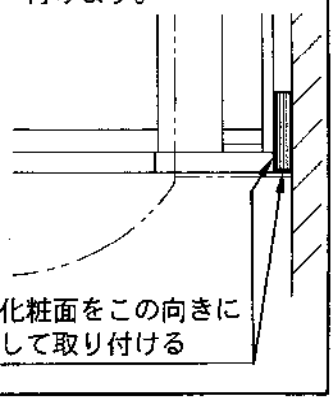
①図のようにして調整材をキャビネットに合わせ切断枚数を決めます。



②調整材の止めねじ（7本）を取り外し（不用）ナイフ等で切断します。

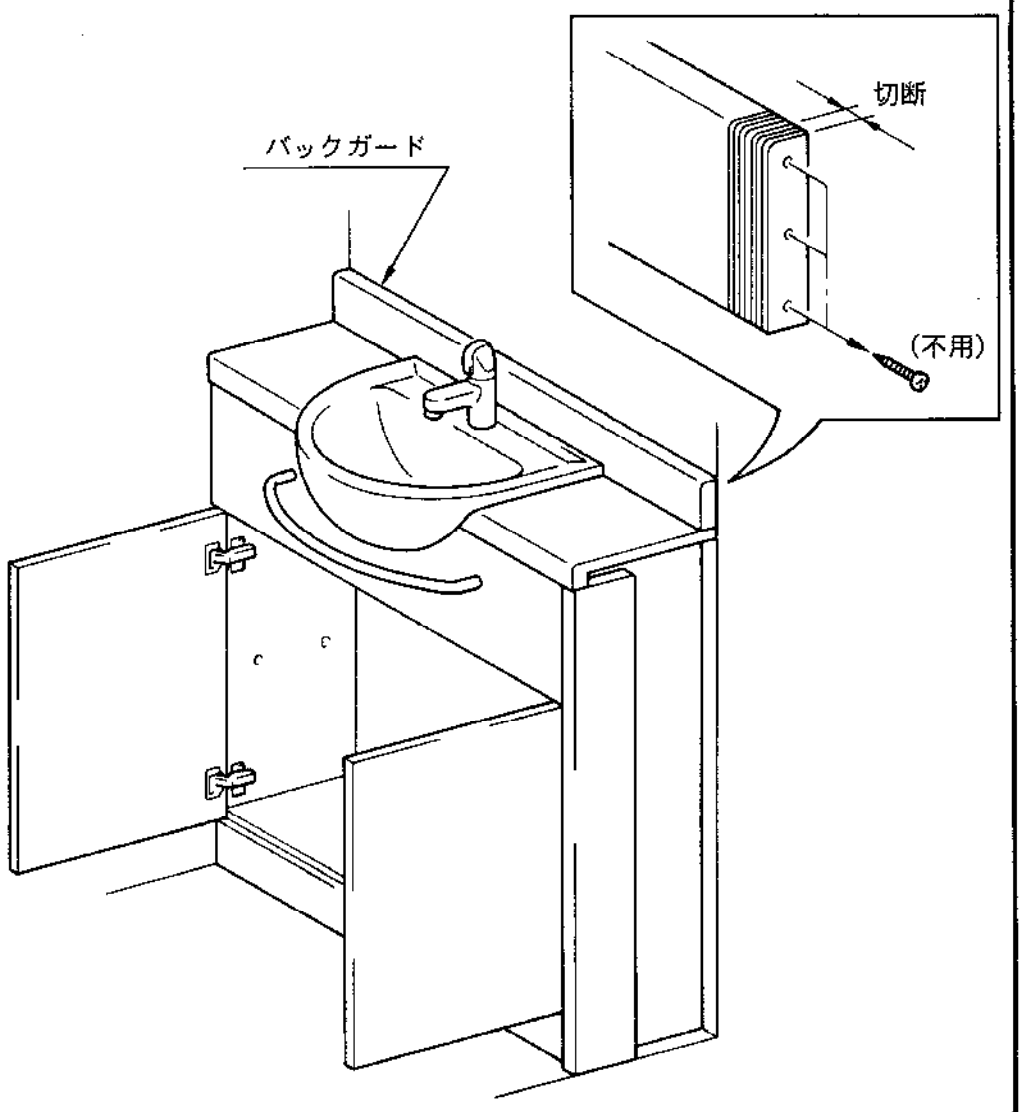


③化粧面の向きに注意してキャビネットに取り付けます。



3、バックガードの取付け

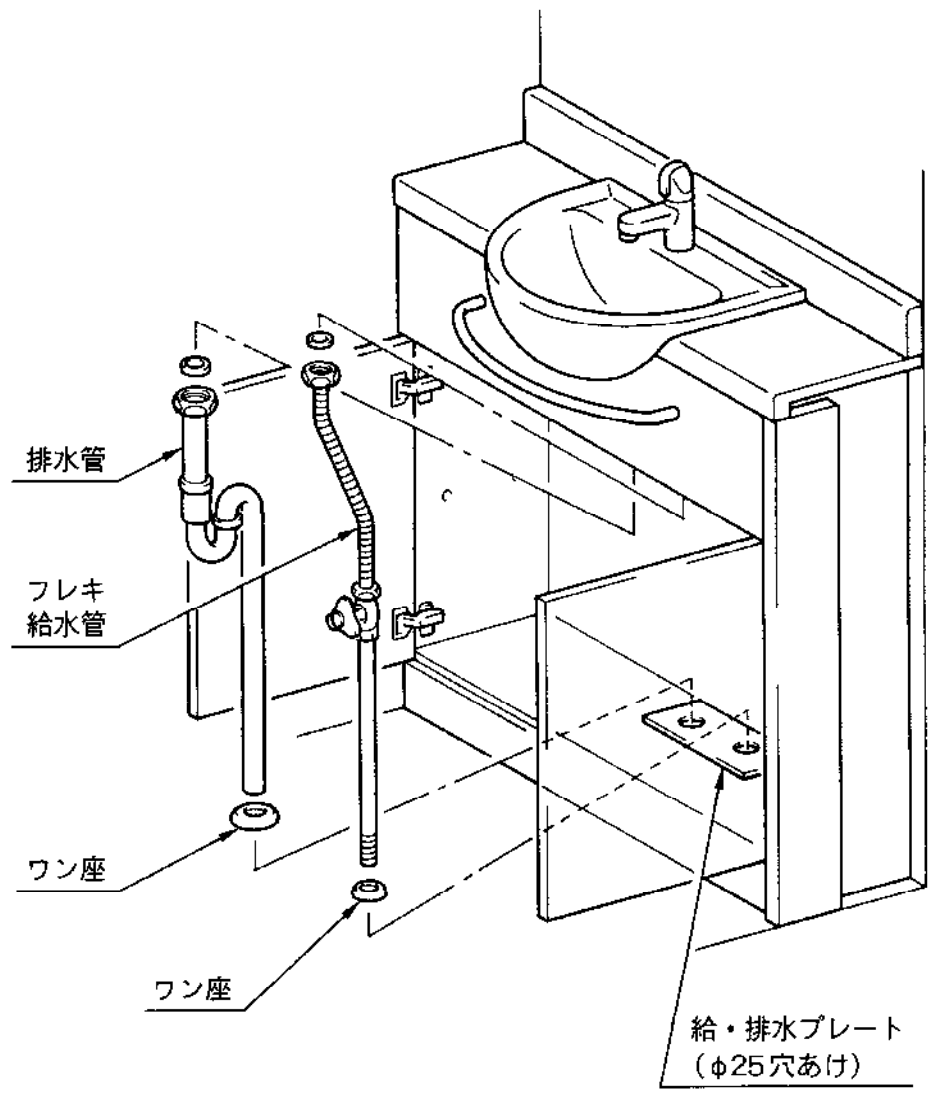
①バックガードの調整部を先ほどの手洗いキャビネットと同じ枚数切断します。
②バックガードの両面シールテープをはがし取り付けます。



4、給・排水管の取付け

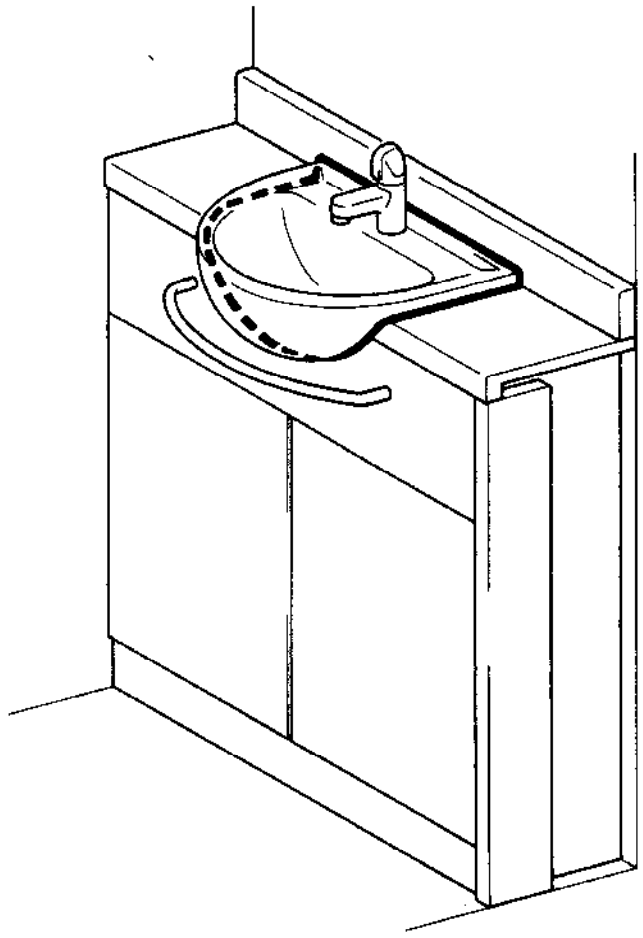
給・排水の立ち上げ位置に合わせて給・排水プレートに穴をあけ、給水管、排水管を取り付けます。

注 給水管接続は必ず水道工事店様が行ってください。



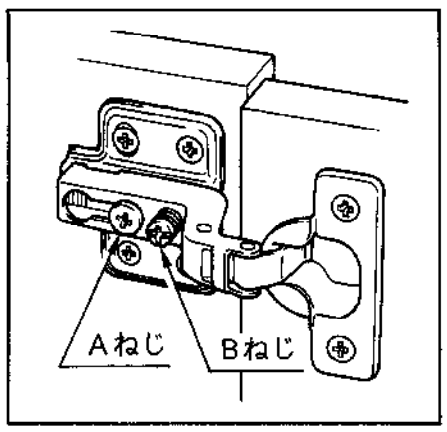
5、コーキング

手洗器まわりのコーキングをします。



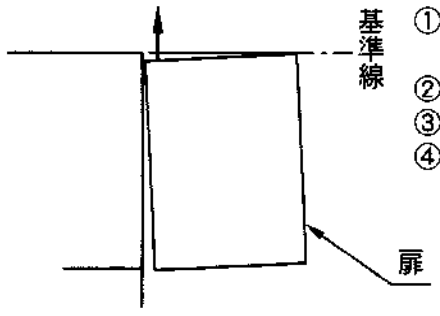
6、扉（スライド蝶番）の調節

蝶番は、スライド蝶番（ストッパー付）を使用していますので、万一、扉の段違いがありましたら、下記の例1、例2の要領で調節してください。



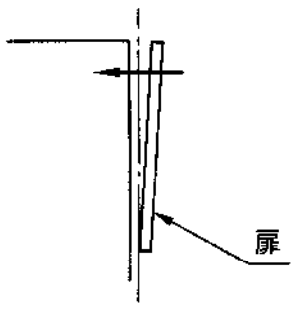
※1 扉の先端を下げる場合は、例1の逆に、上の蝶番で調節してください。
※2 調節後は必ず、A（固定ねじ）が硬く締めてあることを確認してください。

●例1 ―――――――――― 扉の先端を上に上げる場合



①扉の下の蝶番のAねじを左へゆるめ、Bねじを約1回転ほど右へ締める。
②Aねじを右へ締める。
③扉を締めて確認する。
④正しい位置になるまで①～②をくり返す。

●例2 ―――――――――― 扉と側板のすき間が上下違う場合



①扉の上の蝶番のAねじを左へゆるめ、扉を動かして正しい位置にする。
②正しい位置でAねじを右へ締める。

7、各ジョイント部の増締め

給・排水器具をセット後、各ジョイント部を増し締めします。

8、水漏れ点検

●蛇口から水を流し、給・排水管の各接続部に漏水がないことを確認します。

◆注意点

排水接続部は数回繰り返して、水を流さないと確認が困難な場合があります。

株式会社INAX

本　社　☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-263-1710
東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341　横浜支社 ☎045-242-1710
千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177　東関東支社 ☎0286-37-3378
関越支社 ☎0273-27-1793　甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717
静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701
福岡支社 ☎092-471-1710　南九州支社 ☎096-322-1794